

専門ゼミ A		演習	准教授 八木 孝幸	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301	

1. テーマ

経営学における諸理論の研究

2. ゼミのねらい・概要

入学以来、1 年次には『経営学基礎』を、2 年次には経営学関連の専門科目を履修したことのある学生諸君も多いことだろう。しかし、回数や時間が制限されている必修科目や専門選択科目といった講義を通じてでは経営学の諸理論について、その代表的な理論の概略説明だけで予定していた時間が終了してしまうことも多々ある。

そこで当ゼミでは、講義形式ではなくゼミ形式によって、「学生諸君に経営学についてより専門的に深く理解してもらおう」という意図の下で開講されるゼミである。なお、当ゼミ履修に関して特に制限はないが、『経営学基礎』の単位修得済みであることが望ましい。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は概ね以下の通りであるが、所属ゼミ生の力量を見極めながら適宜計画の修正を行う予定である。

1. ガイダンス（履修指導など）	10. テキストの内容の解説とまとめ⑨（CSR）
2. テキストの内容の解説とまとめ①（市民生活と企業）	11. テキストの内容の解説とまとめ⑩（企業の利害関係者）
3. テキストの内容の解説とまとめ②（私企業と公企業）	12. テキストの内容の解説とまとめ⑪（人事異動）
4. テキストの内容の解説とまとめ③（株式会社制度）	13. テキストの内容の解説とまとめ⑫（コンフリクト・マネジメント）
5. テキストの内容の解説とまとめ④（企業統治）	14. テキストの内容の解説とまとめ⑬（企業組織と経営理念）
6. テキストの内容の解説とまとめ⑤（企業の組織構造）	15. 本ゼミの前期まとめ
7. テキストの内容の解説とまとめ⑥（日本的組織）	
8. テキストの内容の解説とまとめ⑦（経営戦略）	
9. テキストの内容の解説とまとめ⑧（企業の合併・買収）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

当ゼミではテキストを使用するので、各回ともゼミ計画を参考に事前に学習予定の箇所に対する 2 時間以上の予習を期待する。またゼミ終了後には、まとめを含めた学習内容の復習を 2 時間以上期待している。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

当ゼミでは、各回とも学習予定であるテキストの内容について解説を加えた後、用意した設問に解答する形でゼミ生自身の手でペーパーに要点をまとめてもらう予定である。なお、所属ゼミ生の人数にもよるが、後日、要点をまとめたペーパーを一旦提出してもらい、ゼミ担当教員が内容をチェックあるいは添削後、返却を行うこともある。

また当ゼミでは、ゼミ生の習熟度を測る目的で期末試験（あるいはレポート）を実施するが、後日、解答などを掲示板に掲示する予定である。

6. ゼミにおける学修の到達目標

社会人となった際に、企業社会のシステムや、取引先及び所属組織のメカニズムなどが容易に理解できる程度の専門知識修得を目標としている。

7. 成績評価の方法・基準

課題（定期試験やレポート等）の結果（50%）及びゼミに対する取り組み姿勢（50%）によって評価する。ただし、課題（定期試験やレポート等）の結果がゼミに対する取り組み姿勢の評価のいずれかが 59 点以下になった場合は、不可とする。

8. テキスト・参考文献

〈テキスト〉

小山巖也・出見世信之・谷口勇仁『(有斐閣ストゥディア) 問いからはじめる現代企業〔新版〕』有斐閣, 2024 年。

〈参考文献〉

必要に応じて適宜指示をする。

9. 受講上の留意事項

座席表作成の都合上, 所属ゼミ生は初回より必ず出席のこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。